



道徳だより

11



1組「ピーマンマンとよふかし大まおう」の授業から

「自分の生活を見直し、わがままを我慢して、健康で規則正しい生活をしようとする態度を養う。」というねらいで授業を行いました。

子どもたちは、夜ふかしをする悪影響や、早寝早起きをすることのよさを比べながら考えることで、規則正しい生活をすることのよさを考えることができました。そして、規則正しい生活を実践するために、時間を決めることやルールを作るなど、自分たちにできる具体的な方法も考えました。



2組「わたしたちもしごとをしたい」の授業から

「働くことのよさを知り、人のためになる仕事を家庭やクラスでしたいと思う態度を養う。」というねらいで授業を行いました。

子どもたちは、「誰かのために仕事をすることで、相手の気持ちを元気にしたり、自分自身もよい気持ちになったりする。」など、働くことのよさについて考えることができました。キーワードとして「〇〇のために」が挙げられました。相手意識や目的意識をもって仕事をするとういのかなと考えていました。

